

一般財団法人 F A財団

2024年度事業報告書(案)

2024年4月1日から2025年3月31日まで

1. 論文賞表彰事業

1. 2024年2月に行った7学会への推薦依頼に応じて、6月末日の締切までに論文賞候補19件が送られてきた。そこで、7月～8月に各審査委員に書面審査をお願いし、9月24日（火）に審査委員会を開催して授賞候補論文7件を選定していただき、10月15日（火）の第38回理事会（書面審査）で授賞論文7件を最終決定した。12月6日（金）に霞山会館で開催した表彰式では、受賞者をはじめ、7学会関係者、来賓、役員・評議員・審査委員等、61名の参加を得て、論文の著者に表彰状と副賞（1件100万円）を贈呈した。表彰式後には技術交流会を開催し、受賞者と来賓等参加者との交流を行った。
2. 國際會議開催に関する援助については、7学会が関与して国内で開催される、論文賞に関連の深い分野の会議に限定して、具体的な検討を行ったが、公募するまでには至らなかった。審査委員会では、2025年度以降の論文賞表彰事業全般についても意見交換を行い、論文賞の募集・審査・表彰のスケジュール、推薦依頼学会は今年度と同様で良いことになった。
また、審査の基準・方法は前年度改訂して試行したもので良いことになった。
3. 2025年2月10日（月）に、2025年度の論文賞候補の推薦を7学会に依頼した。

2. 運営・管理体制

1. 理事会・評議員会を下記のとおり開催した。
6月13日（木）第36回理事会：2023年度の事業報告・決算報告、公益目的支出計画実施報告書、第13回定期評議員会の開催、2024年度の事業計画・収支予算の審議
6月27日（木）第13回評議員会：2023年度の事業報告・決算報告、公益目的支出計画実施報告書の審議、2024年度の事業計画・収支予算の報告
6月27日（木）第37回理事会（書面審議）：代表理事の選任
10月15日（火）第38回理事会（書面審議）：論文賞授賞論文の決定
3月28日（金）第39回理事会：2025年度の事業計画・予算案の審議
2. 2023度の決算に基づいて、6月27日（木）に公益目的支出計画実施報告書等を内閣府に提出した。
3. ファナック株式会社からの資金援助について11月26日（火）に2,000万円の振り込みがあつたので、管理費として運用することを前提として収入の部に計上した。
4. 2020年8月に発行した「F A財団30年の歩み」の内容を見直すとともに、その後の活動状況を加えた「35年の歩み」を2025年3月に編集を終えたが、印刷は4月になった。

以上

事業報告の内容を補足する重要な事項が無いため、事業報告の附属明細書は作成していない